



バナナエキス
BANATIN®

バナチン®

有機バナナのパイオニア

株式会社ヒロインターナショナルは、1992年から安心バナナの生産と供給を開始、2001年12月にはフィリピン産のバナナでは初めての有機JAS認定を取得しました。現在は南米のペルー、エクアドルの自社農園が栽培の中心となっています。バナナ事業スタート時の有機化構想から約18年、ヒロインターナショナルは有機栽培バナナのリーディングカンパニーとしての地位と販売実績を誇っています。

東京海洋大学との共同研究

長年の有機バナナ事業による幅広いバナナの知識を持つヒロインターナショナルは、東京海洋大学大学院ヘルスフード科学講座と、バナナの機能性について共同研究を行っております。既に、前立腺肥大抑制作用とそのメカニズムについての研究発表をしました。大学での共同研究結果を元に、今までの食品加工で培ったノウハウを生かし、バナチン®を開発しました。

これまでの発表

◆学会発表

第5回新規素材探索研究会 2007年6月(静岡市)	前立腺肥大抑制作用を有する新規食品素材の探索
日本農芸化学会2007年度大会 2008年3月(東京)	バナナ Musa spp.の皮抽出物の抗アンドロゲン作用
日本栄養・食糧学会第62回大会 2008年5月(坂戸市)	バナナ Musa spp.の皮抽出物の抗アンドロゲン作用
第7回新規素材探索研究会 2008年6月(横浜市)	抗アンドロゲン作用を有する新規食品素材の探索
第6回日本臨床栄養大連合大会 2008年10月(東京)	バナナ Musa spp.の皮抽出物の抗アンドロゲン作用
第6回日本機能性食品医学会 2008年12月(西宮市)	バナナの皮抽出物の前立腺肥大抑制作用
第7回日本臨床栄養大連合大会 2009年9月(神戸市)	バナナ抽出物の前立腺肥大抑制作用

◆投稿論文・投稿記事

FOOD Style 21, 12(9), 37-39, 2008	バナナの皮の前立腺肥大抑制作用
New Food Industry, 51(4), 59-66, 2009	バナナ果皮エキスの前立腺肥大抑制作用
Bissci. Biotech. Biochem., 73(9), 1911-1914, 2009	Banana peel extract suppresses prostate gland enlargement in testosterone-treated mice
機能性食品と薬理栄養, 6(2) 109-114, 2010	未利用資源の機能性
FOOD RESEARCH, 664(10), 14-17, 2010	男性更年期の新規抑制成分の研究・バナナ果皮エキスの前立腺肥大抑制作用

東京海洋大学大学院 ヘルスフード科学講座より

商品案内

● 取り扱い商品

バナチン® WP-14

バナナエキスを抽出し、パウダー化したもの

- ・ 荷姿 1kg×10袋 内装:アルミ袋
外装:段ボール
- ・ 保存方法 高温多湿、直射日光を避け、冷暗所保管
- ・ 使用例 打錠品・ハードカプセル・ドリンク等

● バナチン® の安全性

以下の各試験において安全性を確認しております。

1. 急性経口毒性試験(マウス)
2. 遺伝毒性試験(Ames試験)
3. 原料の残留農薬試験

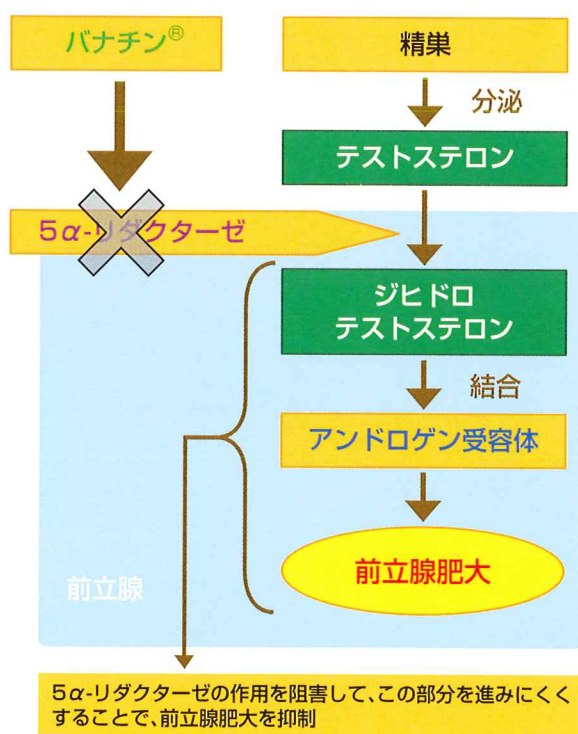




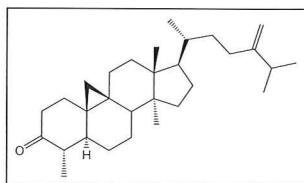
バナチン®の機能性

1.メカニズムと作用機序

バナチン®には、テストステロンをジヒドロテストステロンに変換する5 α -リダクターゼを阻害する働きがある事が推察されました。



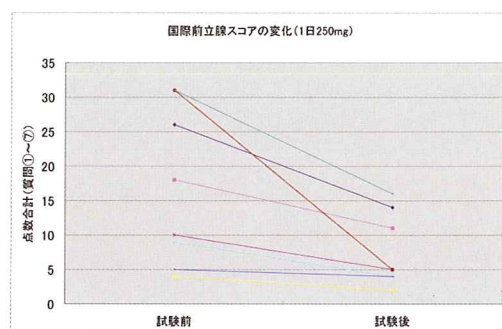
バナチン®の機能性成分の1つが "cycloeucalenone" であることがわかりました。



東京海洋大学大学院 ヘルスフード科学講座より

2.ヒトでの機能性

睡眠を妨げるような頻尿傾向等を感じている人に、バナチン®を1ヶ月飲んでもらい、試験前後に国際前立腺スコア(IPSS)をつけてもらったところ、ほぼ全ての人で点数は下がりました。また、悪化した人はいませんでした。

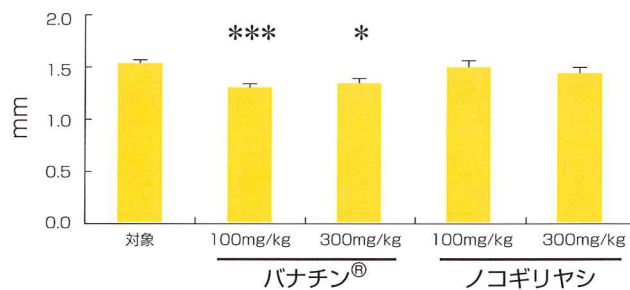


ヒロインターナショナル社内調べ

3.ノコギリヤシとの比較

同じ作用機序を持つノコギリヤシと、マウスを用いた試験で比較したところ、バナチン®はノコギリヤシと同量もしくは少ない量で効果があることが示唆されました。

前立腺短径



* p<0.05
*** p<0.005

東京海洋大学大学院 ヘルスフード科学講座より